名前（　　）　日付　　月　　日

公民 労働 雇用 労働者の権利

問 1　労働と雇用の基本

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　財やサービスを生み出すために、人が心身の力を使って働くことを何というか。	
(2)　使用者に雇われ、賃金を受け取って働く人を何というか。	
(3)　労働者を雇い、仕事の指示や賃金の支払いなどを行う側を何というか。	
(4)　働いたことへの対価として、使用者から労働者に支払われるお金などを何というか。	
(5)　労働者が使用者の指揮の下で働き、使用者が賃金を支払うことを約束する契約は何か。	
(6)　15 歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

働き始める前に、賃金・勤務時間・仕事内容などの労働条件を、書面などで確認することが大切なのはなぜか。働き始めた後のトラブルと結び付けて説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 労働 雇用 労働者の権利

問 2　労働三権と労働組合

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　労働者が、労働条件の維持・改善などのために自主的につくる団体を何というか。	
(2)　労働者が労働組合をつくり、加入する権利を何というか。	
(3)　労働者が団体として、使用者と労働条件などを交渉する権利を何というか。	
(4)　労働条件の改善などのため、ストライキなどの団体行動を行う権利を何というか。	
(5)　団結権・団体交渉権・団体行動権を、まとめて何というか。	
(6)　要求を実現するため、労働者が団結して仕事を一時的にやめる争議行為は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

労働者が労働組合をつくり、団体で使用者と交渉する権利が保障されているのはなぜか。一人で交渉する場合の立場の違いに着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 労働 雇用 労働者の権利

問 3　労働三法と労働条件

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　賃金・労働時間・休暇など、労働条件の最低基準を定める法律は何か。	
(2)　労働組合の活動を保障し、労働者の地位向上を図る法律は何か。	
(3)　労働争議を予防・解決するため、あっせん・調停・仲裁などを定める法律は何か。	
(4)　労働基準法が定める法定労働時間は、原則として 1 日何時間・週何時間以内か。	
(5)　使用者が労働者に支払う賃金について、法律に基づき定められた最低限度は何か。	
(6)　一定の要件を満たした労働者に与えられる、賃金を受け取りながら休める休暇は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

ある会社が、適用される最低賃金より低い時給で働く契約を結ぼうとした。労働者が同意すれば、その時給を有効とできるか。労働者を守る最低基準の考え方から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 労働 雇用 労働者の権利

問 4　平等と仕事と生活の両立

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　募集・採用・昇進など、雇用の各段階で性別を理由とする差別を禁止する法律は何か。	
(2)　育児や介護のための休業などを定め、仕事と家庭の両立を支える法律は何か。	
(3)　男女共同参画社会の形成に向け、基本理念や国・自治体の責務などを定める法律は何か。	
(4)　仕事と、育児・介護・地域活動などの生活を調和させる考え方を何というか。	
(5)　同じ企業内の正規・非正規雇用の間の、不合理な待遇差をなくすという考え方は何か。	
(6)　職場での性的な嫌がらせや、立場を利用したいじめなどを総称して何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

育児や介護を担う人が仕事を続けられるよう、休業制度や柔軟な働き方を整えることが大切なのはなぜか。本人の生活と、社会の働き手の両面から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 労働 雇用 労働者の権利

問 5　雇用の変化と課題

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　正社員として、原則、期間の定めのない契約で雇われる働き方を何というか。	
(2)　パート・アルバイト・派遣社員・契約社員などの雇用形態をまとめて何というか。	
(3)　同じ企業で定年まで働くことを前提とする、日本の伝統的な雇用慣行は何か。	
(4)　勤続年数や年齢などを重視して、賃金を決める仕組みを何というか。	
(5)　仕事で上げた成果や業績を重視して、賃金や人事評価を決める考え方は何か。	
(6)　働く意思と能力があり、仕事を探しているのに仕事に就けない状態を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

非正規雇用で働く人の中には、収入や雇用の安定に課題を抱える人がいる。どのような課題が考えられるかを一つ挙げ、必要な支援や改善策と結び付けて説明しなさい。

公民 労働 雇用 労働者の権利の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　労働と雇用の基本

(1) 労働　(2) 労働者　(3) 使用者
(4) 賃金　(5) 労働契約　(6) 労働力人口

記述例　条件の食い違いを防ぎ、トラブルの際に、約束した賃金や仕事内容などを確認できるようにするため。

採点のポイント　条件の食い違いを防ぐことや、約束した内容を後から確認できることを説明している。

補足　憲法は勤労の権利と義務を定める。完全失業者は、仕事がなく、すぐ働けて求職中の人。

問 2　労働三権と労働組合

(1) 労働組合　(2) 団結権　(3) 団体交渉権
(4) 団体行動権　(5) 労働三権　(6) ストライキ

記述例　労働者は一人では使用者より弱い立場になりやすく、団結して対等な立場で労働条件を交渉するため。

採点のポイント　個人では弱くなりやすい立場と、団結によって対等に交渉する必要を結び付けている。

補足　団体行動権は争議権、労働三権は労働基本権でも可。公務員の労働基本権には法律上の制約がある。

問 3　労働三法と労働条件

(1) 労働基準法　(2) 労働組合法　(3) 労働関係調整法
(4) 1 日 8 時間・週 40 時間　(5) 最低賃金　(6) 年次有給休暇

記述例　できない。同意があっても最低賃金を下回る部分は無効となり、最低賃金額が適用される。

採点のポイント　有効にはできず、本人の同意があっても最低基準を下回れないことを説明している。

補足　(1)〜(3)を労働三法という。法定労働時間を超えて働かせるには、労使協定などの条件がある。

問 4　平等と仕事と生活の両立

(1) 男女雇用機会均等法　(2) 育児・介護休業法　(3) 男女共同参画社会基本法
(4) ワーク・ライフ・バランス　(5) 同一労働同一賃金　(6) ハラスメント

記述例　育児・介護と収入を得る仕事を両立でき、離職を防いで社会の働き手も確保できるため。

採点のポイント　本人が仕事と家庭を両立できることと、離職を防いで働き手を確保すること。

補足　仕事と生活の調和でも可。育児・介護の休業制度は、性別を問わず利用できる。

問 5　雇用の変化と課題

(1) 正規雇用　(2) 非正規雇用　(3) 終身雇用
(4) 年功序列賃金　(5) 成果主義　(6) 失業

記述例　契約更新への不安があるため、継続雇用の機会や、正規雇用への転換を望む人への支援を充実させる。

採点のポイント　雇用や収入に関する課題と、それに対応する支援・改善策を一組示している。

補足　非正規雇用でも労働基準法などによる保護を受ける。年功序列賃金は年功賃金でも可。